

能登半島へのアクセス確保

1/16 17時00分時点
国土交通省 道路局

(主な対応状況)

- 1/2
 - ・北陸道などの**高速道路**(NEXCO・公社管理)の**通行止め解除**
 - ・能登半島へのアクセス道路の**緊急復旧に着手**
 - ・**普通車**について、輪島・珠洲市までアクセス確保(大型車について、1/4確保)
- 1/9
 - ・緊急復旧により、半島内の幹線道路の約8割が**通行可**(1/15 約9割まで進捗)
- 1/14~
 - ・総理大臣の指示を受け、**権限代行に関する調整に着手**

1/14 総理ぶら下がり会見総理発言
のと里山海道を含む能越自動車道の石川県管理区間、被害が甚大で孤立集落が点在する国道249号の沿岸部と関連する土砂災害対策、輪島周辺市街地を二次災害から守るための河原田川の河川砂防事業について、自治体に代わって国が責任をもって本格復旧まで行う権限代行を緊急に実施するものとして、国土交通大臣に指示する。



1月18日(木) 7時~【予定】
能越自動車道(のと三井IC~のと里山空港IC)について、輪島から穴水方向のみ通行止め解除

1月18日(木) 7時~【予定】
のと里山海道(徳田大津IC~横田IC)について、徳田大津から穴水方面のみ、緊急車両等に限り通行止め解除

一般車両通行規制区間【予定】
(1/18 (木) 7時~)

一般車両通行規制区間
(1/7 (日) 8時~
1/18 (木) 7時)



国道249号の主な被災箇所
(大津交差点~穴水町役場付近)

小牧 地割れ

⇒近傍の迂回路により相互通行を確保

緊急復旧(道路啓開)の状況や交通状況等を、web地図上で閲覧できる「道路復旧見える化マップ」を公表(1月12日より)

二次元コードは
↓コチラ

URL : <https://www.mlit.go.jp/road/r6noto/index2.html>

○七尾市(徳田大津)からの所要時間

1/14 (8時台発):穴水町	約1.5時間	輪島市	約3時間	珠洲市	約3.5時間
1/15 (8時台発):穴水町	約1.5時間	輪島市	約2時間	珠洲市	約2.5時間
1/16 (8時台発):穴水町	約1.5時間	輪島市	約2.5時間	珠洲市	約3時間

※所要時間は「道路復旧見える化マップ」でも掲載

令和6年能登半島地震に伴う河川・海岸の対応状況等について

令和6年1月16日 12:30時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 国管理河川では、5県（新潟、富山、石川、福井、長野）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所では堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川（しなのがわ）水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。
- 県管理河川では、6県（新潟、富山、石川、福井、長野、岐阜）が管理する122水系554河川のうち、109水系532河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する59水系95河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中（石川県は継続中、他は実施済）。石川県管理の河原田川（かわらだがわ）水系河原田川、山田川（やまだがわ）水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川については土砂災害対策と一体となった対策に向けて工事中。山田川については流路確保工事中。
- ダムでは、点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷を確認。専門家（国総研）により、計測データや画像等を基にした遠隔指導に加え、1月11日にヘリにて現地入りし技術支援を実施。応急対策は実施済。
- 海岸では、全国の点検対象128海岸のうち、石川県の4海岸を除く124海岸で点検完了。うち石川県管理の宝立正院（ほうりゅうしょういん）、三崎（みさき）、等の7海岸において、堤防護岸の損壊等を確認。応急対策の実施方法について検討中。

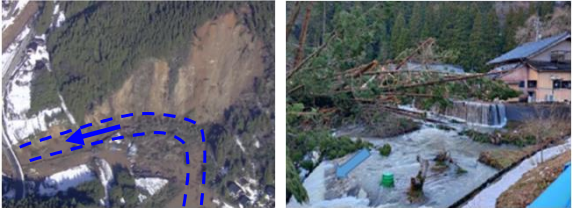
河川の被害状況: 国管理 県管理
 ダムの被害状況: 県管理
 海岸の被害状況: 県管理

＜石川県管理ダム＞
 北河内（きたかわち）ダム（能登町）
 貯水池周辺斜面の小規模崩落等
 小屋（おや）ダム（珠洲市）
 ダム天端の舗装に一部クラック、
 ダム堤体表面被覆の一部変状等

専門家（国総研）により、
 遠隔指導に加え、ヘリにて
 現地入りし技術支援を実施
応急対策済

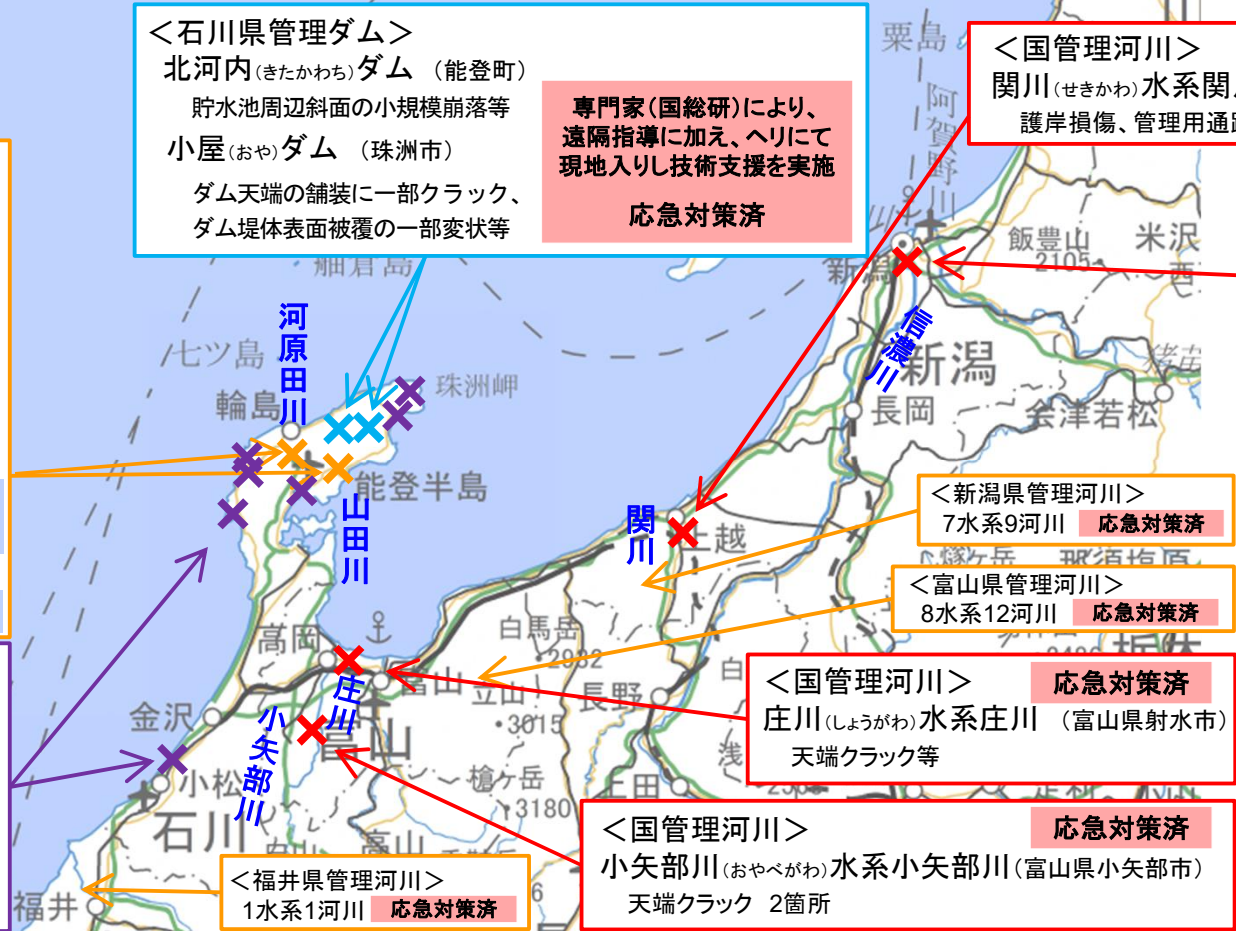
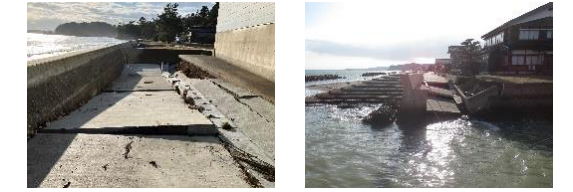
＜国管理河川＞ **応急対策済**
 関川（せきかわ）水系関川（新潟県上越市）
 護岸損傷、管理用通路クラック 3箇所

＜石川県管理河川＞ **応急対策実施中**
 43水系73河川



河原田川（かわらだがわ）水系河原田川（輪島市）
 河道埋塞 **土砂災害対策と一体となった
 対策に向けて工事中**
 山田川（やまだがわ）水系山田川（能登町）
 河道埋塞 **流路確保工事中**

＜石川県管理海岸＞ **応急対策の実施
 方法を検討中**
 7海岸 堤防護岸の損壊等



＜新潟県管理河川＞ **応急対策済**
 7水系9河川

＜富山県管理河川＞ **応急対策済**
 8水系12河川

＜国管理河川＞ **応急対策済**
 庄川（しょうがわ）水系庄川（富山県射水市）
 天端クラック等

＜国管理河川＞ **応急対策済**
 小矢部川（おやべがわ）水系小矢部川（富山県小矢部市）
 天端クラック 2箇所

＜福井県管理河川＞ **応急対策済**
 1水系1河川



＜国管理河川＞ **応急対策済**
 信濃川（しなのがわ）水系信濃川
 （新潟県新潟市、長岡市）
 堤防沈下、天端クラック等 10箇所
応急対策済

令和6年能登半島地震(最大震度7)による土砂災害発生状況

土砂災害発生件数

83件※1

【被害状況】
 人的被害：死者：23名
 安否不明者：12名
 負傷者：3名
 家屋被害：全壊：17戸
 半壊：4戸
 一部損壊：3戸
 (いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ)

石川県	55件
新潟県	16件
富山県	12件

※1: 都道府県から土砂災害発生箇所として報告された件数

わじまし くまのまち
①石川県輪島市熊野町



わじまし いちのせまち
②石川県輪島市市ノ瀬町



安否不明者: 3名

すずし にえまち
③石川県珠洲市仁江町 【道の駅すず塩田村の西側】



死者: 7名
 安否不明者: 2名
 負傷者: 2名



※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

令和6年能登半島地震の影響による鉄道の状況について

A のと鉄道 七尾線(33.1km)

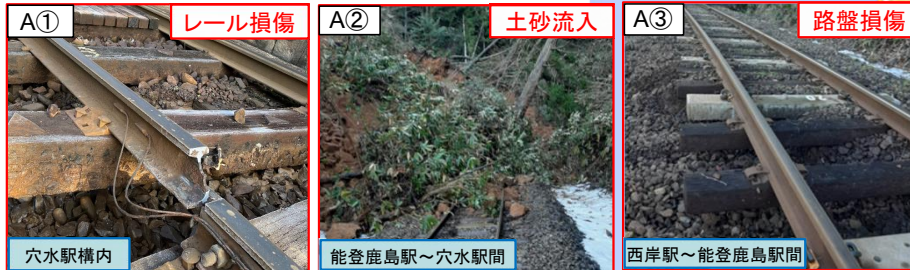
○運休区間：七尾駅～穴水駅間(全線) 被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月5日 のと鉄道より発表)
 1月9日～10日 現地調査実施(合計12名):TEC-FORCE 5名、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊(RAIL-FORCE) 7名

B JR西日本 七尾線(59.5km)

○運休区間：羽咋駅～和倉温泉駅間 羽咋駅～七尾駅間は、1月22日以降の運転再開を目指して復旧作業中。
 (29.8km) 七尾駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みが立っていない。(1月15日 JR西日本より発表)
 1月11日 現地調査実施:TEC-FORCE 5名

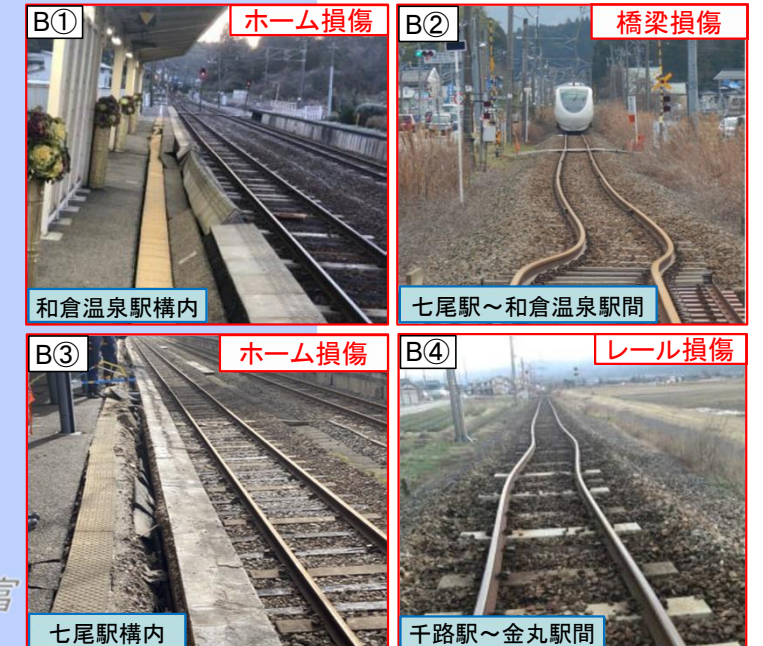
○1月15日以降に再開した路線
 ・JR西日本 七尾線(高松駅～羽咋駅間) (15日始発から)

【のと鉄道】



※各写真はのと鉄道提供

【JR七尾線】



TEC-FORCE、RAIL-FORCEによる被災状況調査



1/22以降の
 運転再開に向けて
 復旧作業中

1/15 運転再開



※B①、B④、B⑤、B⑥の写真はJR西日本提供

- 能登地域の港湾では、港湾全体に被害が及んでおり、石川県からの要請に基づき、七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港の計6港について、港湾施設の一部管理を国土交通省にて実施。
- このうち、支援物資輸送の**中核となる水深4.5m以深の9岸壁が利用可能**であることを確認(条件付きで利用可能なものを含む)。(その他、小型船用の水深4.5m未満の物揚場は、63施設が利用可能(条件付きで利用可能なものを含む))
- 引き続き、海上ルートによる支援物資の円滑な輸送の実現に資するよう、利用条件の解消に向け、**応急復旧作業を進める**。

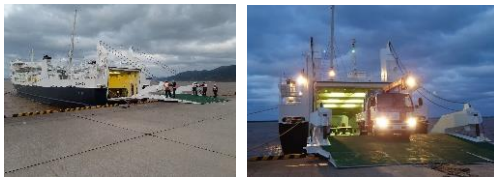
輪島港 (最大水深7.5m、延長220m)

1岸壁が利用可能

【主な利用条件と対応状況】

- ・地震による地盤隆起により、岸壁水深が最大1.5m程度浅くなっている。
- 回復には抜本的な復旧工事が必要であり、水深6mの岸壁として運用。

- ・岸壁法線から約13m離れた位置に岸壁法線と平行して最大2mの段差が生じていることから、船舶へのアクセス経路が限られている。
- 当面、5日に応急復旧したアクセス経路で物資を搬送。拡幅作業を実施中。



RORO船による支援物資輸送(10日)

小木港 (最大水深5.0m、延長160m)

5岸壁中4岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁×4

【主な利用条件と対応状況】

- ・一部の岸壁で、水深が最大1m程度浅くなっている。
- 応急復旧を準備中。

水深5.0m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工事が必要

飯田港 (最大水深5.5m、延長100m)

2岸壁中1岸壁が利用可能

水深4.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・航路内に小型船が沈没しているため、航行時に注意が必要。
- 沈没船撤去等の準備中。当面、注意して航行してもらうことで対応。
- ・アクセス経路にうねりが生じている。
- 応急復旧を実施し、作業完了(9日)。

水深5.5m岸壁は利用不可 →抜本的な復旧工事が必要



民間2船による支援物資輸送(11日)

七尾港 (最大水深11.0m、延長260m)

8岸壁中3岸壁が利用可能

水深11.0m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・液状化の影響により、車両が走行できないアクセス経路がある。
- 応急復旧を実施し、車両の走行経路を確保(12日)。

水深9.0m岸壁、水深7.5m岸壁

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができない。(一般車両は走行可能)
- 回復には抜本的な復旧工事が必要であり、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用。

その他の5岸壁は利用不可

→抜本的な復旧工事が必要

「はくおう」による休養施設の提供(水深11m岸壁)



穴水港 (最大水深4.0m、延長187m)

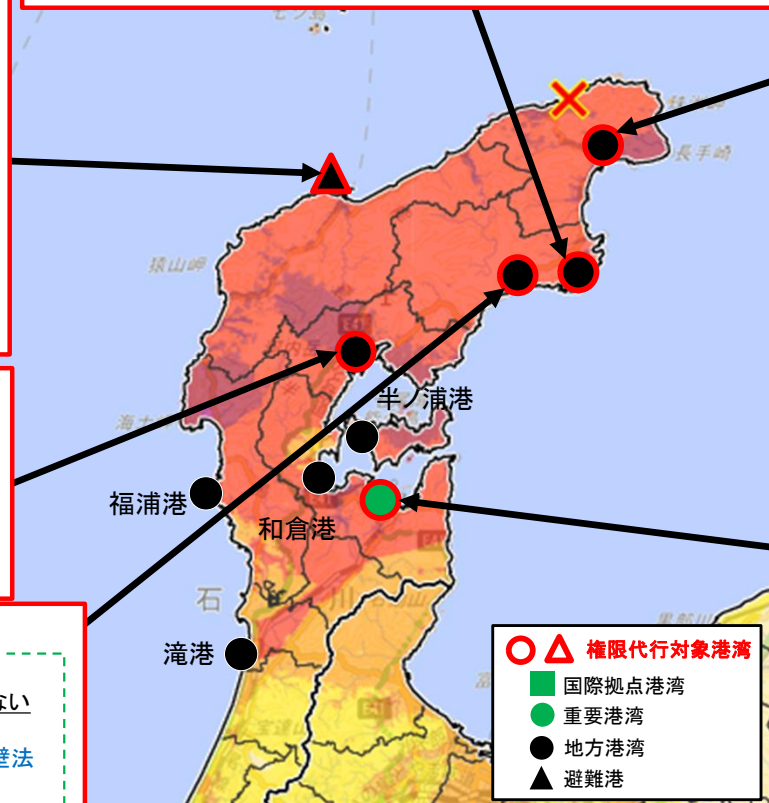
【主な利用条件と対応状況】

- ・強い陸風が吹くときは離岸が必要となる場合がある。
- 回復には抜本的な復旧工事が必要。当面、注意して運用。

宇出津港 (最大水深4.0m、延長205m)

【主な利用条件と対応状況】

- ・岸壁法線に近い位置は重量物を置くことができないものがある。(一般車両は走行可能)
- 回復には抜本的な復旧工事が必要。当面、岸壁法線の近くに重量物を置かないように運用。



国土交通省職員の対応状況

総数【537名】(のべ6,631人日)

リエゾン 56名
JETT 7名
被災状況調査班等 474名

- 本省 31名
- 北海道開発局 16名
- 東北地整 64名
- 関東地整 68名
- 北陸地整 76名
- 中部地整 51名
- 近畿地整 64名
- 中国地整 51名
- 四国地整 22名
- 九州地整 42名
- 東北運輸局 2名
- 関東運輸局 1名
- 北陸信越運輸局 14名
- 中部運輸局 6名
- 近畿運輸局 1名
- 中国運輸局 2名
- 東京航空局 3名
- 大阪航空局 6名
- 気象庁 7名
- 国土地理院 2名
- 国総研 5名
- 港空研 3名

石川県内(能登半島)【3名】
被災状況調査班(CAR-SAT) 3名



現地対策本部【23名】
本部員(リエゾン併任) 18名
本部員(JETT併任) 5名

石川県庁【24名】
リエゾン(北陸地整/国土地理院) 6名
JETT 2名
高度技術指導班(住宅) 1名
" (都市) 2名
" (上水) 2名
" (下水) 6名
" (河川) 1名
被災状況調査班(砂防) 4名



輪島市【186名】
リエゾン(北陸地整/北陸・近畿運輸) 6名
先遣班 5名
応急対策班(道路啓開) 6名
現地支援班(対策本部車) 8名
被災状況調査班(道路) 61名
" (砂防) 56名
" (河川) 6名
" (応急危険度判定) 6名
" (港湾) 2名
高度技術指導班(上水) 3名
" (空港) 10名
災害記録班 2名
運用支援班(空港) 4名
3名
電源支援班 8名

志賀町【24名】
リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 2名
被災状況調査班(道路) 16名
" (河川) 4名
高度技術指導班(上水) 2名



輪島市



珠洲市【95名】
リエゾン(北陸地整/北陸運輸/中部運輸) 10名
応急対策班(道路啓開) 2名
" (照明) 3名
現地支援班(対策本部車) 2名
被災状況調査班(道路) 44名
" (河川) 4名
" (砂防) 20名
高度技術指導班(上水) 4名
" (港湾) 4名
電源支援班 2名

能登町【66名】
リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 3名
被災状況調査班(道路) 12名
" (河川) 4名
" (砂防) 28名
" (応急危険度判定) 6名
給水支援班 6名
現地支援班(対策本部車) 3名
高度技術指導班(上水) 4名



穴水町【41名】
リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 5名
被災状況調査班(道路) 24名
" (応急危険度判定) 6名
" (河川) 4名
高度技術指導班(上水) 2名



七尾市【10名】
リエゾン(北陸地整/北陸運輸) 2名
被災状況調査班(港湾) 4名
被災地支援班(港湾) 2名
高度技術指導班(上水) 2名



射水市【1名】
高度技術指導班(都市) 1名

富山市【21名】
給水支援班 16名
災害記録班 2名
現地支援班(本部車) 3名

金沢市【14名】
リエゾン(中部・関東・中国運輸) 4名
応急対策班(照明) 2名
被災状況調査班(道路) 3名
" (港湾) 2名
給水支援班 2名
高度技術指導班(道路) 1名

北陸信越運輸局【1名】
運用支援班 1名

北陸地方整備局【28名】
先遣班 25名
総合指令班 2名
情報通信班 1名

内灘町

金沢市

宝達志水町

氷見市

中能登町

七尾市

志賀町

射水市

富山市

国土交通省の資機材の活動状況 (能登半島)

総数 (能登以外の派遣、派遣移動中も含む)
 災害対策機械等 141台
 (うち、散水車 (給水機能付) 13台稼働中)
 (うち、照明車 (電源確保) 4台稼働中)

輪島市
 照明車 【1/2~ (稼働中)】
 対策本部車 【1/6~ (稼働中)】
 待機支援車 【1/6~ (稼働中)】
 Ku-sat 【1/4~ (活動中)】
 照明車 (電源確保) 【1/7~ (稼働中)】 3台
 海保回転翼機 (物資・人員輸送) 【1/2, 1/5】

輪島港
 巡視船 (人員・物資輸送、給水支援) 【1/2~1/11】

珠洲市
 散水車 (給水機能付) 【1/5~ (稼働中)】 10台
 照明車 【1/3~ (稼働中)】
 対策本部車 【1/5~ (稼働中)】
 待機支援車 【1/6~ (稼働中)】
 衛星通信車 【1/11~ (活動中)】
 Ku-sat 【1/7~ (活動中)】
 照明車 (電源確保) 【1/6~ (稼働中)】 1台
 海保回転翼機 (物資輸送) 【1/2】
 測量船 (飯田港 港内調査) 【1/5】
 測量船 (蛸島漁港 港内調査) 【1/6】

CAR-SAT 能登半島内



照明車 輪島市 夜間照明



災害対策本部車 輪島市井町



衛星通信車 穴水町役場



待機支援車 輪島市



志賀町
 照明車 【1/15~ (稼働中)】
 散水車 (給水機能付) 【1/6~ (稼働中)】 1台

羽咋市
 照明車 【1/4~ (稼働中)】

中能登町
 散水車 (給水機能付) 【1/3~ (待機中)】 1台

氷見市
 散水車 (給水機能付) 【1/2~ (稼働中)】 1台

海翔丸 (物資支援) 七尾港



散水車 (給水機能付) 中能登町ほか



かほく市

内灘町

金沢港

金沢市

金沢市
 照明車 【1/4~ (待機中)】
 散水車 (給水機能付) 【1/3~ (稼働中)】
 海保回転翼機 (人員輸送) 【1/14】

富山市
 散水車 (給水機能付) 【1/13~ (待機中)】 4台
 バックホウ 【1/3~ (待機中)】
 照明車 【1/5~ (待機中)】
 Ku-sat可搬 【1/5~ (待機中)】
 衛星通信車 【1/10~ (待機中)】

ほくりく 待機中 (富山空港)



照明車 (電源支援) 珠洲市避難所

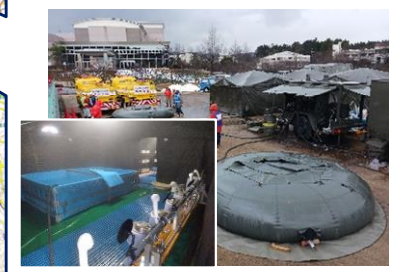


散水車 (給水機能付) (稼働中) 能登町ほか



上越市
 照明車 【1/3~ (稼働中)】
 バックホウ 【1/4~ (待機中)】

散水車 (入浴施設への給水支援) 七尾市



令和6年能登半島地震における被害状況等について

1 地震の概要

(1) 発生日時 令和6年1月1日 16:06～

(2) 震源地及び地震の規模等（震度5強以上）

地震検知日時	震央地名	マグニチュード	最大震度
2024/1/1 16:06	石川県能登地方	5.5	震度5強
2024/1/1 16:10	石川県能登地方	7.6	震度7
2024/1/1 16:18	石川県能登地方	6.1	震度5強
2024/1/1 16:56	石川県能登地方	5.8	震度5強
2024/1/2 17:13	能登半島沖	4.6	震度5強
2024/1/3 02:21	石川県能登地方	4.9	震度5強
2024/1/3 10:54	石川県能登地方	5.6	震度5強
2024/1/6 05:26	石川県能登地方	5.4	震度5強
2024/1/6 23:20	能登半島沖	4.3	震度6弱

(3) 津波警報等

- ・1日16時10分に発生した石川県能登地方を震源とする地震の津波注意報は、2日10時00分に全て解除。

(4) 1月1日16:10の地震について

①発生日時

- ・令和6年1月1日16:10

②震源及び規模（暫定値）

- ・場所：石川県能登地方（北緯37.5度、東経137.3度）
- ・規模：マグニチュード7.6（暫定値）
- ・震源の深さ：16km（暫定値）

③各地の震度（震度5強以上）

石川県	震度7	志賀町
	震度6強	七尾市、輪島市、珠洲市、穴水町
	震度6弱	中能登町、能登町
	震度5強	金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
新潟県	震度6弱	長岡市
	震度5強	新潟中央区、新潟南区、新潟西区、新潟西蒲区、三条市、柏崎市、見附市、燕市、糸魚川市、妙高市、上越市、佐渡市、南魚沼市、阿賀町、刈羽村
富山県	震度5強	富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村
福井県	震度5強	あわら市

(5) 地震活動の状況

1月1日16:06の最大震度5強の地震以降、1月16日12時00分現在、震度1以上を観測した地震が1414回（震度7：1回、震度6強：0回、震度6弱：1回、震度5強：7回、震度5弱：7回、震度4：41回、震度3：151回、震度2：378回、震度1：828回）

○今後の気象の見通し（1/16 12:00時点）

- ・北陸地方では、16日は冬型の気圧配置の影響で、山地を中心に大雪となる所があり、平地でも積雪となる所がある。また、海上を中心に風が強く吹き海はしける。17日は冬型の気圧配置は緩み、晴れや曇りとなる所が多い。18日から21日にかけては、前線や低気圧の影響で雨や雪となる日が多く、石川県では大雨警報を発表する可能性がある。22日頃からは冬型の気圧配置となる見込み。
- ・北陸地方の朝の最低気温は、17日は氷点下の冷え込みとなる。18日から22日頃にかけては2度前後、23日頃には氷点下になる所があり、気温の低い日が続く見込み。体調管理に注意。
- ・今回の地震で揺れの大きかったところでは、少ない雨でも土砂災害や河川の増水・氾濫が起こるおそれがあり注意・警戒が必要。地震で損傷を受けた家屋では、積雪の重みによる倒壊にも注意が必要。高波に警戒、大雪、風雪や強風、積雪の多い所では融雪やなだれに注意。

2 体制等

○非常体制：本省、気象庁、北陸地整、北信運輸、国土地理院、国総研

3 一般被害情報（消防庁 HP 1/16 08:40 時点）

○人的被害

- ・死者 222 人（石川 222）、重傷 233 人（新潟 5、富山 3、石川 225）

○住家被害

- ・全壊 398 棟（新潟 23、富山 18、石川 357）、半壊 668 棟（新潟 591、富山 58、石川 19）

■道路（1/16 14:00 時点）

○高速道路 1 路線 2 区間で通行止め

能越道（のと三井 IC～穴水 IC）【2 区間】道路崩落等

○直轄国道 1 路線 1 区間で通行止め

国道 8 号（新潟県上越市茶屋ヶ原）上下線通行止（土砂崩落）

※1/2 6:30 より 国道 8 号通行規制に伴う北陸自動車道・上信越自動車道の一部区間の代替路（無料）措置中

○補助国道 3 路線 24 区間で通行止め

国道 249 号（石川県志賀町大福寺）土砂崩れ
国道 249 号（石川県七尾市直津町）道路段差
国道 249 号（石川県七尾市中島町小牧）路面亀裂
国道 249 号（石川県七尾市東山町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県珠洲市真浦町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県珠洲市真浦町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県珠洲市仁江町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県珠洲市大谷町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県珠洲市若山町）法面崩壊
国道 249 号（石川県珠洲市大谷町）トンネル損傷
国道 249 号（石川県輪島市名舟町）土砂崩れ
国道 249 号（石川県輪島市町野町曾々木）土砂崩れ
国道 249 号（石川県輪島市縄又町）道路陥没
国道 249 号（石川県輪島市門前町浦上）法面崩壊
国道 249 号（石川県輪島市門前町西円山）法面崩壊
国道 249 号（石川県輪島市稲舟町）法面崩壊
国道 249 号（石川県輪島市大野町）法面崩壊
国道 249 号（石川県輪島市白米町）道路陥没
国道 249 号（石川県輪島市町野町大川）法面崩壊
国道 249 号（石川県能登町恋路）道路損壊
国道 359 号（石川県金沢市宮野町）土砂崩れ
国道 359 号（富山県小矢部市五郎丸）道路損壊
国道 471 号（富山県小矢部市後谷）道路損壊
国道 471 号（富山県富山市八尾町栃折）路面沈下

○都道府県道等 3 県 73 区間で通行止め

石川県 66 区間
新潟県 2 区間
富山県 5 区間

■鉄道（1/16 12:30 時点）

【施設被害】2 事業者 2 路線

○JR 西日本：七尾線 和倉温泉駅、ホーム損傷等（詳細確認中）

（高松駅～羽咋駅間は、1 月 15 日始発より運転再開

羽咋駅～七尾駅間は、1 月 22 日以降の運転再開を目指し復旧工事中

七尾駅～和倉温泉駅間は、被害が大きく運転再開の見込みがたっていない）

※1 月 11 日に鉄道局職員及び北陸信越運輸局鉄道部職員（TEC-FORCE）による現地調査を実施

○のと鉄道：七尾線 穴水駅、レール損傷等（詳細確認中）
（被害が大きく運転再開の見込みが立っていない）

※1月9日及び10日に鉄道局職員及び北陸信越運輸局鉄道部職員（TEC-FORCE）、鉄道・運輸機構 鉄道災害調査隊（RAIL-FORCE）による現地調査を実施

【運転見合わせ】

<新幹線>

なし

<在来線> 2事業者 2路線

○JR西日本：七尾線

○のと鉄道：七尾線

■航空（1/16 12:00 時点）

○能登空港 震度6強

・滑走路閉鎖中（～1/24：航空情報（ノータム）発出済）

※滑走路上に亀裂あり（深さ約10センチ長さ約10メートル以上のひび割れが4～5カ所）

・1/2～ 救難ヘリ等の離発着を受入れ開始

滑走路の被害状況調査・復旧支援のための航空局職員（TEC-FORCE）を派遣

・1/9～ 空港の運用を支援するための航空局職員（TEC-FORCE）を派遣

・1/10～ 空港運用時間を拡大

※8:00～19:30（11.5時間）→6:00～24:00（18時間）

・1/10 滑走路の仮復旧完了（1/11より自衛隊輸送機の離発着が可能）

・1/11～閉鎖中の滑走路について、救助活動に従事する航空機（自衛隊、海上保安庁、消防庁、警視庁、警察庁、その他の官公庁）及び事前に許可を受けた航空機は使用できるノータムを発出

・1/12～自衛隊輸送機が離発着を開始

・民航機が運航可能となるのは早くとも1/25以降の見込み

・救援ヘリ等の離発着（取付誘導路）

→1/2 民間ヘリ（患者搬送・医師輸送）

1/4 民間ヘリ（患者搬送・医師輸送）、自衛隊ヘリ（物資輸送等）

1/5 自衛隊ヘリ（孤立住民の輸送等）

1/6 自衛隊ヘリ（孤立住民の輸送等）

1/7 なし（雪の影響のため）

1/8 山梨県防災ヘリ（給油）・自衛隊ヘリ（隊員輸送・孤立住民の輸送）

1/9 山梨県防災ヘリ（給油）・自衛隊ヘリ（隊員・物資輸送）

- 1/10 北海道警ヘリ（物資積み下ろし）自衛隊ヘリ（隊員・物資輸送等）
- 1/11 千葉市防災ヘリ（人員・物資輸送）自衛隊ヘリ（隊員・物資輸送等）
- 1/12 自衛隊固定翼 C-130（物資輸送等）自衛隊固定翼 C-2（物資輸送等）自衛隊ヘリ（患者輸送）広島県警ヘリ（給油）警視庁（給油）
- 1/13 なし（天候不良のため）
- 1/14 自衛隊ヘリ（孤立住民・隊員・物資輸送等）富山県警ヘリ（給油）民間ヘリ（人員輸送）
- 1/15 なし（天候不良のため）
- 1/16 自衛隊ヘリ予定

・ 自衛隊災害派遣（車両）

1/3 毛布

1/4～ 毛布、食料、軽油ドラムなど

・ ターミナルビル復旧作業開始（1/7～）断水中（飲水）

→1/11～輪島市より給水車にて飲料水の供給開始

・ 商用電源復旧。空調、トイレ、固定電話、携帯電話、Wi-Fi 使用可能

・ 空港アクセス道路復旧開通（1/6 一般道が通行可能（緊急車両優先））
・ 空港周辺の高速度道路は通行止め）

・ 地域住民数十名程度ビル内へ避難中（毛布・食料等支給済み）

・ 航空旅客は航空会社がバスを手配し、希望者を金沢市へ搬送済（1/3）

○ 運航への影響

・ 1日 欠航便 28便（JAL9便、ANA16便、その他3便）

・ 2日 欠航便 10便（JAL1便、ANA8便、その他1便）

・ 3日～本日 各日欠航便 4便（ANA4便）※能登空港

■ 砂防（1/16 13:30 時点）

○ 土砂災害警戒情報発表基準の暫定的な運用

・ 震度5強以上を観測した市町村において土砂災害警戒情報発表基準を引き下げた暫定基準による運用を開始（1月1日 22:30）

通常基準の7割（震度6弱以上）：2県8市町（石川県、新潟県）

通常基準の8割（震度5強）：4県26市町村（石川県、新潟県、富山県、福井県）

○ 土砂災害

・ 83件 新潟県16、富山県12、石川県55

人的被害 死者23名、安否不明者12名、負傷者3名

人家被害 全壊17戸、半壊4戸、一部損壊3戸

※いずれも土砂災害による被害と判明した箇所のみ

○ 砂防関係施設点検対象

直轄 3管内（新潟県1町、富山県2市町、岐阜県2市）

- 点検完了。異常なし。
補助 新潟県（28市町村）、富山県（12市町）、福井県（3市）、長野県（1村）、岐阜県（4市村）
点検完了。異常なし。
石川県（15市町）
へりによる点検完了。

■河川（1/16 12:30 時点）

○国管理河川

- ・5県（新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県）に所在する12水系17河川で点検を完了。4水系4河川16箇所では堤防沈下、天端クラック等を確認、信濃川水系信濃川における緊急復旧工事の完了を含め、必要な応急対策は実施済。

○県管理河川

- ・6県（新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県）が管理する122水系554河川のうち、109水系532河川で点検完了、残る河川は点検実施中。新潟県、富山県、石川県、福井県が管理する59水系95河川で、護岸損傷、天端クラック等を確認、応急対策を順次実施中（石川県は継続中、他は実施済）。
- ・石川県管理の河原田川水系河原田川、山田川水系山田川において、土砂崩れによる河道埋塞が発生し家屋等が浸水。河原田川については土砂災害対策と一体となった対策に向けて工事中。山田川については流路確保工事中。

■ダム（1/16 12:30 時点）

○点検対象ダム96ダムの全てで点検終了。うち94ダムは異常なし。2ダム（石川県管理）で損傷を確認。専門家（国総研）により、計測データや画像等を基に地震発生後から実施してきた遠隔指導に加え、1月11日にへりにて現地入りし、技術支援を実施。応急対策は実施済。

○国管理：2ダム

[新潟県] 三国川さぐりがわダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

[福井県] 鳴鹿なるか大堰 一次点検、二次点検終了 異常なし

○県管理：35ダム

[新潟県] 11ダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

[富山県] 13ダム 一次点検、二次点検終了 異常なし

[石川県] 10ダム 一次点検、二次点検終了 8ダム 異常なし

2ダム（北河内ダム、小屋ダム）で損傷確認（北河内ダム；貯水池周辺斜面に小規模崩落、ダム堤内のポンプ故

障。小屋ダム；ダム天端の舗装に一部クラック、ダム堤体表面被覆の一部変状等)。

専門家（国総研）により、計測データや画像等を基に地震発生後から実施してきた遠隔指導に加え、1月11日にヘリにて現地入りし、技術支援を実施。応急対策（北河内ダム；仮設ポンプ稼働中。小屋ダム；念のため水位低下、クラック部のシート張り等）は実施済。

[福井県]	1 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
○利水	: 59 ダム		
[新潟県]	16 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[富山県]	32 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[石川県]	4 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[長野県]	1 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし
[岐阜県]	6 ダム	一次点検、二次点検終了	異常なし

■海岸（1/16 13:30 時点）

<直轄海岸>

- ・点検対象海岸：4 海岸 うち石川県の1 海岸にて異常あり
石川県 石川海岸：海岸堤防等の管理用通路に段差・クラックあり。立入禁止措置済

<補助海岸>

- ・津波被害情報（速報値）：石川県珠洲市、能登町及び志賀町の3市町で、合計約190haの津波による浸水を確認。特に浸水範囲の広い珠洲市における浸水深は、約4mに達したと想定
- ・点検対象海岸：124 海岸 うち石川県の7 海岸にて異常あり
石川県 富来海岸 堤防護岸にクラック・沈下・損壊あり
根上海岸 海岸堤防等の管理用通路に段差・クラックあり
(直轄：石川海岸と同区間) 立入禁止措置済
宝立正院海岸 堤防護岸損壊あり
穴水海岸 堤防護岸損壊あり
三崎海岸 堤防護岸損壊、水叩損壊あり
門前海岸 堤防護岸損壊あり
五十洲海岸 被害あり、詳細調査中

能登半島沿岸のうち現時点で点検が未了の4 海岸については、道路啓開等の状況を踏まえ順次点検予定

■下水道（1/16 13:30 時点）

○石川県

- ・ 処理場：全 57 箇所（被害無:32、機能確保済:25）
- ・ ポンプ場：全 52 箇所（被害無:38、機能確保済:11、機能停止:3）
- ・ 管路施設：点検対象 18 市町村（被害無:1 市町村、点検中:17 市町村）

○新潟県

- ・ 処理場：全 83 箇所（被害無:79 箇所、機能確保済:4）
- ・ ポンプ場 被害なし
- ・ 管路施設：点検対象 28 市町村（被害無:24 市町村、機能確保済:3 市町村、点検中:1 市町村）

○富山県

- ・ 処理場：全 29 箇所（被害無:25 箇所、機能確保済:4）
- ・ ポンプ場：被害なし
- ・ 管路施設：点検対象 13 市町村（被害無:6 市町村、点検中:7 市町村）

○福井県

- ・ 処理場・ポンプ場の被害なし
- ・ 管路施設：点検対象 3 市町村（被害無:2 市町村、機能確保済:1 市町村）

○長野県

- ・ 処理場・ポンプ場・管路の被害なし

○岐阜県

- ・ 処理場・ポンプ場・管路の被害なし

■公園・都市（1/16 13:00 時点）

- 都市公園：89 施設被災（新潟県 29、富山県 18、石川県 41、福井県 1）
- 都市排水施設等：19 施設被災（新潟県 4、富山県 3、石川県 12）

■住宅・建築物（1/16 13:00 時点）

①公営住宅の被害状況

6 団地で一部損壊、半壊（富山県 2 団地、石川県 4 団地）
その他断水等の被害報告あり（新潟県、富山県、石川県）

②エレベーター閉じ込め情報

閉じ込めが 14 件（石川県 7 件、新潟県 1 件、富山県 1 件、群馬県 1 件、
愛知県 2 件、大阪府 2 件）発生。全件で救出済み。

（※日本エレベーター協会会員社が保守を行っているもの）

③被災建築物応急危険度判定

新潟県（1/2～11）、富山県（1/3～）、石川県（1/4～）、福井県（1/3）にて実施

④住まいの確保

○公営住宅の空室提供

- ・ 都道府県・政令市に協力要請（1/4）
- ・ 被災者がすぐにでも入居可能な状態の住宅を全都道府県において

約 7,800 戸確保 (1/15 時点)

○賃貸型応急住宅

- ・ 賃貸・不動産関係団体に協力要請 (1/1、1/2)
- ・ 石川県にて受付開始 (1/5～)、11 市 7 町で受付中 (1/14 時点)
- ・ 富山県にて受付開始 (1/5～)、9 市 3 町 1 村で受付中 (1/14 時点)

○建設型応急住宅

- ・ 住宅生産関係団体に協力要請 (1/1)
- ・ 主要都府県・政令市に応援職員の派遣要請 (1/4)
- ・ 独立行政法人都市再生機構 (UR) に対し技術的支援に係る応援職員の派遣要請 (1/10)
- ・ 主要自治体・UR より応援職員の派遣開始 (1/15～)
- ・ 輪島市、珠洲市で着工 (1/12)、穴水町、能登町で着工 (1/15)

	輪島市	珠洲市	穴水町	能登町
着工	76 戸	90 戸	15 戸	66 戸

○住宅の補修への対応

- ・ 登録リフォーム事業者団体に協力要請 (1/1)

■物流・自動車 (1/16 12:00 時点)

(物流施設の状況)

- ・ 倉庫事業者 (石川県内)
 - 壁の一部剥落、シャッター変形 4 事業者 6 棟 (1 棟は R6.3 復旧見込、他は復旧見込未定)
 - 事務所天井版落下 1 事業者 2 棟 (復旧見込未定)
 - 貨物落下・散乱 7 事業者 10 棟 (5 棟復旧済、1 棟は R6.3 復旧見込、他は復旧見込未定)
- ・ 倉庫事業者 (新潟県内)
 - 建物の被害 5 事業者 6 棟 (復旧見込未定)
 - 貨物荷崩れ・破損 7 事業者 11 棟 (復旧見込未定)
- ・ 倉庫事業者 (富山県内)
 - 貨物落下・散乱 1 事業者 2 棟 (復旧見込未定)

(バス等の運休状況)

- ・ 高速バス：運休、一部運休なし
- ・ 宅配事業者：大手 5 事業者において一部地域で集配遅延等
- ・ トラック事業者 (石川県内)：営業所施設が一部損壊 (2 事業者 5 営業所)
- ・ タクシー事業者 (石川県内)：営業所施設の外壁崩落や津波により車両 2 台に被害発生 (1 事業者 1 営業所)

(自動車検査登録関係)

- ・石川県、富山県及び新潟県の一部地域において、自動車検査証の有効期間を2月9日まで再伸長。また、救助、災害復旧等に使用される全国から派遣されている緊急自動車等の自動車検査証の有効期間を2月9日まで伸長
- ・石川県、新潟県、富山県及び福井県内を対象に自動車登録申請等に必要となる書面の有効期間を6月30日まで延長する等の特例を実施
- ・災害救助法又は被災者生活再建支援法適用区域に対し、車の所在不明や、罹災証明書が入手困難な車両に対して、申立書にて抹消対応を可能とする特例の実施。

(その他)

- ・全国霊柩自動車協会が、石川県知事からの協力要請に応じて、広域でのご遺体の搬送に対応できるよう「災害対策中央本部」を立ち上げ(1/8)。1/9には先遣派遣(中部霊柩自動車協会会長等)を実施し、1/10は初動要請車両5両(中部及び近畿)が活動。1/12から15両(中部、北信、近畿、中国、関東の各地方)が活動。

■海事(1/16 12:00 時点)

- 係留中の能登の遊覧船3隻(1事業者、冬期休業中)が流されたとの報告
- 係留中の輪島の旅客船1隻が海底隆起と思われる状況により座礁した状態との報告
- 石川県及び富山県の造船所(いずれも1事業者)において、一部設備が損壊との報告
- モーターボート競走施設について、三国競走場(福井県)が一部損壊し3~7日に開催予定のレースは取りやめたが、次回(18日~)以降のレースは被害のない施設を使用して開催予定。
- 船員法、船員職業安定法、船舶職員及び小型船舶操縦者法、船舶安全法、海上運送法の手続きについて、有効期間の延長等の弾力的な措置を実施する旨を周知

■港湾(1/16 12:00 時点)

- 2日より輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港、七尾港(いずれも石川県)において、港湾法第55条の3の3に基づく権限代行を実施しており、岸壁の利用可否情報及び入港実績を国交省HPにて公表。
- 能登地域の港湾において、利用可能な港湾施設は以下の4港9岸壁。
 - ・七尾港：8岸壁中3岸壁が利用可能
 - 11.0m 岸壁 ※岸壁法線から約20mの範囲は、液状化した形跡があるため、一部の区域は車両通行不可

- 7.5m 岸壁、-9.0m 岸壁 ※慎重に接岸、栈橋部に重量物の載置不可等
- ・輪島港：1 岸壁が利用可能
 - 7.5m 岸壁 ※背後荷さばき地の沈下、地盤の隆起により水深が1~1.5m 程度浅くなっている状況
- ・飯田港：2 岸壁中 1 岸壁が利用可能
 - 4.5m 岸壁 ※港内の漂流物・沈降物等に注意、岸壁前面水深が最大 1m 程度浅くなっている状況
- ・小木港：5 岸壁中 4 岸壁が利用可能
 - 4.5m 岸壁×4 ※一部の岸壁で、水深が最大 1m 程度浅くなっている状況
- ・また、その他小型船用の水深 4.5m 未満の物揚場は、63 施設が利用可能であることを確認。

○飯田港のアクセス経路に生じたうねりについて、9 日に応急復旧完了。

○これまでに、以下の 3 港で延べ 41 隻が利用。

- ・七尾港（3 日より順次供用再開）：延べ 29 隻
- ・輪島港（4 日より供用再開）：延べ 6 隻
- ・飯田港（4 日より供用再開）：延べ 6 隻

○石川県・富山県・新潟県・福井県の計 21 港で防波堤や岸壁等の被害を確認しているが、能登地域以外の港湾は、概ね利用可能な状態。

○石川県・富山県・新潟県の計 5 海岸で護岸等の被害を確認。

○地震の影響により、能登半島北部にある「輪島港」（港湾局所管）と「珠洲市長橋」（気象庁所管）の津波観測ができない状態となっていたため、輪島港内に臨時の津波観測装置を設置。8 日より観測再開。14 日に、より安定的な観測を可能とする装置を更新設置。

○自衛隊が PFI 方式により契約している民間船舶「はくおう」が、七尾港の応急復旧した岸壁へ 13 日に着岸。同じく七尾港に着岸している「ナッチャン World」とともに、14 日より被災者の休養施設や国・自治体職員の災害対策拠点として、それぞれ活用を開始。

■観光（1/16 12:00 時点）

○石川県内、新潟県内及び富山県内の観光施設 81 軒でガラス破損等の被害。

○石川県内の宿泊施設 19 軒で外壁・内壁損傷、配管損傷等の被害。
（七尾市 17 軒、珠洲市 1 軒、加賀市 1 軒）

○新潟県内の宿泊施設 54 軒で配管の損傷等の被害。
（新潟市 8 軒、長岡市 3 軒、三条市 2 軒、柏崎市 3 軒、新発田市 2 軒、村上市 1 軒、糸魚川市 2 軒、妙高市 8 軒、五泉市 2 軒、上越市 10 軒、佐渡市 6 軒、南魚沼市 1 軒、弥彦村 3 軒、田上町 1 軒、湯沢町 2 軒）

○富山県内の宿泊施設 63 軒でエレベーター一停止等の被害。

(富山市 18 軒、高岡市 5 軒、魚津市 5 軒、氷見市 16 軒、滑川市 2 軒、黒部市 3 軒、砺波市 5 軒、南砺市 6 軒、上市町 2 軒、朝日町 1 軒)

○福井県内の宿泊施設 4 軒(あわら市 4 軒)で浴場ボイラー破損等の被害。

○岐阜県内の宿泊施設 1 軒(高山市 1 軒)で落石による施設一部損壊の被害。

いずれも人的被害はなし

■官庁施設

○北陸管内の災害応急対策を行う官庁施設のうち、被害のあった 8 施設の現地調査を完了。1 施設について継続使用は不可と判断。(業務は別地にて継続中。) その他の 7 施設は庁舎の継続使用に支障がないことを確認。

■緊急物資輸送

○陸上輸送 (1/17 12:00 時点)

- ・被災地は、順次、道路による物資輸送機能が回復している。国は支援物資を調達し、被災自治体からの要請を待たずに、被災者の命と生活環境に不可欠な物資を広域物資拠点(石川県産業展示館)へ緊急輸送(1次輸送)する「プッシュ型支援」を実施中。輸送品目は、食料、飲料水、毛布、段ボールベッド、ブルーシート、衛生用品等。
- ・必要物資の手配は、内閣府の指揮の下、関係省庁(経産省、エネ庁、農水省、厚労省)が行い、物資供給事業者が物資と輸送手段の双方を手配。物資供給事業者が輸送手段を確保できない場合、政府の災害対策本部から国土交通省へ協力要請があり、国土交通省から全日本トラック協会に協力要請し、トラックの手配を確実に実施。(全日本トラック協会是对策本部を設置し、物流・自動車局や指定公共機関との間で連絡体制を構築。また、政府の災害対策本部にリエゾンを派遣。)
- ・発災後1週間以上が経過し、避難所での生活の質の向上を図るための物資や、感染症対策のための衛生用品、保存食(アルファ化米)などの被災地のニーズに応じた輸送が増加。
- ・県の物資拠点から市町の物資拠点への輸送(2次輸送)は、自衛隊による輸送や自治体からの要請に応じた県トラック協会による輸送で対応。県の物資拠点の荷捌きや物資管理の効率化のため、1/9より県に宅配事業者(ヤマト運輸)が協力。
- ・市町の物資拠点から各避難所への輸送(3次輸送)は、主として市町の職員や自衛隊が車や徒歩などで輸送。避難所へは概して物資は届いている一方で、一部の物資が不足しているとの情報もある。市町の物資拠点の荷捌きや物資管理の効率化、及び、ラストマイルの着実な配送のために引き続き市町にトラック事業者等(西濃運輸(珠洲市)、日本通運(輪島市)、ヤマト運輸(輪島市)、佐川急便(能登町、七尾市)、石川県トラック協会(志賀町、七尾市)、トヨタ自動車(志賀町))が協力。

- ・ JR貨物と全国通運連盟において、被災自治体等に対する支援を目的として、企業等が被災地に向けて寄贈する救援物資については、無償で輸送を引き受ける体制を構築（1/4～）、被災自治体（志賀町）へ1件輸送完了。
- ・ 地方整備局等の支援
 - ① 内閣府からの要請により中部地方整備局より飲料水 500ml 換算で約5万本、カラーコーン重り 100 個を石川県産業展示館（物資拠点）へ提供済み。
 - ② 北陸・中部・近畿・九州地方整備局、（一社）日本建設業連合会、（一社）石川県建設業協会、（一社）長野県建設業協会、（一社）日本埋立浚渫協会、北陸港湾空港建設協会連合会等からの支援物資として飲料水 500ml 換算で約5.9万本、ブルーシート約1.4万枚、土のう袋約5.5万枚、仮設トイレや食料など生活支援物資や、マスクなどの衛生用品を石川県珠洲市、輪島市、能登町、七尾市、中能登町、穴水町、宝達志水町、志賀町、羽咋市、内灘町、富山県氷見市、高岡市、魚津市、射水市、小谷部市へ提供済み。

■緊急物資輸送

○海上輸送（1/16 12:00 時点）

●港湾の対応状況

- ・ 前記の通り権限代行を実施している石川県内の6港においては、緊急物資の輸送に向けた調整等、施設の管理について国で実施。
- ・ 緊急物資輸送・給水支援等のため、直轄（九州地整所有）の大型浚渫兼油回収船「海翔丸（かいしょうまる）」が、3日に北九州港を出港し、5日13時頃に七尾港に到着。当日中に輪島市内の避難所に支援物資を輸送。

●内航海運業界への要請（1/16 05:00 時点）

- ・ 長距離フェリー等により被災地への緊急車両や物資等の広域輸送に協力。
- ・ 日本内航海運組合総連合会及び（一社）日本旅客船協会に対し、海上物資輸送に必要な船舶の確保について協力を要請しており、順次協力可能な船舶の明細を受領中。これらの情報について随時現地対策本部等へ情報提供。
- ・ 海運事業者による自発的な支援として、コーウン・マリン（株）（荷主（東ソー）、オペ（東ソー物流））の「東駿丸」が支援物資を搭載し12日に七尾港入港。水や保存食等の支援物資を七尾市に輸送。
- ・ （公財）日本財団の支援活動の一環として、和幸船舶（株）のRORO船「フェリー栗国」が支援物資を搭載し、10日に輪島港、11日・14日に飯田港に入港。灯油や軽油、シャワールーム等の支援物資を輪島市

及び珠洲市に輸送（1/20 まで輸送継続の予定）。

●海上保安庁の対応状況（1/16 12:00 時点）

○1月2日（火）

- ・簡易トイレ（200 個入り 20 箱）を新潟空港から回転翼機により珠洲市市営グラウンドに搬送
- ・食料品、ブルーシート等を新潟空港から回転翼機により輪島市東陽中学校に搬送

○1月3日（水）

- ・飲料水・毛布等を新潟港から巡視船により輪島港及び飯田港に搬送

○1月4日（木）

- ・食料品、毛布等を新潟港から巡視船により七尾港へ搬送

○1月5日（金）

- ・食料品、毛布等を舞鶴港から巡視船、回転翼機により輪島市へ搬送
- ・新潟青年会議所から要請のあった食料品等を新潟港から巡視船により七尾港へ搬送

5 国土交通省の対応状況

(1) 災害対策本部会議等

○大臣指示 16:15

○国土交通省特定災害対策本部会議（1/1 第1回 18:15）

○国土交通省非常災害対策本部会議

（1/2 第1回 10:15、1/3 第2回 11:00、1/4 第3回 11:10、1/5 第4回 11:00、1/6 第5回 11:00、1/7 第6回 15:00、1/8 第7回 15:00、1/9 第8回 11:15、1/11 第9回 11:00、1/12 第10回 11:15、1/16 第11回 13:30）

(2) 非常災害現地対策本部（石川県）

○1月16日時点 34 名派遣中

(3) ホットライン構築状況

43 市 16 町 4 村と構築済み

（秋田県 2、山形県 3、新潟県 17、富山県 15、石川県 19、長野県 3、岐阜県 4）

(4) TEC-FORCE 等【本日 537 名派遣】（のべ 6,631 人・日）

○リエゾン：1 県 4 市 3 町へ 56 人派遣中

（石川県庁 24、金沢市 4、七尾市 2、輪島市 6、珠洲市 10、志賀町 2、穴水町 5、能登町 3）

○JETT：1 県へ 7 人派遣中（石川県 7）

○被災状況調査班等：474 名を派遣中

◇広域被災状況調査班 [Car-SAT]

関東・北陸地整が石川県内（能登半島内）で活動中

◇被災状況調査班 [河川・道路・砂防・港湾・営繕・応急危険度判定]

北海道開発局、東北・関東・北陸・中部・近畿・中国・四国・九州地整、本省が石川県内（県庁、金沢市、七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）で活動中

◇応急対策班 [道路啓開・照明]

関東・北陸・中部地整が石川県内(輪島市、珠洲市、金沢市)で活動中

◇高度技術指導班 [河川・道路・上水・下水・空港・港湾・住宅・都市]

東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州地整、東京・大阪航空局、国総研、港空研、本省が石川県内(県庁、輪島市、珠洲市、七尾市、金沢市、能登町、志賀町、穴水町)、富山県内(射水市)で活動中

◇給水支援班 [応急給水]

東北・関東・北陸・近畿・中国・四国・九州地整が石川県内(金沢市、能登町)、富山県内(富山市)で活動中

◇電源支援班 [電源確保]

関東・中国地整が石川県内(輪島市、珠洲市)で活動中

◇運用支援班 [空港]

東北・中部運輸局、大阪航空局、本省が石川県内(輪島市)で活動中

◇現地支援班 [災害対策本部車・待機支援車]

北陸・近畿・中国地整が石川県内(輪島市、珠洲市、能登町)、富山県内(富山市)で活動中

◇その他先遣班、災害記録班等が被災地で活動中

○ヘリコプターによる被害状況調査

- ・ 防災ヘリ (みちのく号) 石川県を調査 1/2、1/4、1/5、1/11
待機 1/12、1/13、1/14
- ・ 防災ヘリ (あおぞら号) 石川県を調査 1/2
- ・ 防災ヘリ (ほくりく号) 新潟、富山、石川県を調査 1/2
石川県を調査 1/4、1/5、1/9、1/14
待機 1/6、1/7、1/8、1/10、1/12、1/13、1/15、1/16
- ・ 防災ヘリ (きんき号) 福井県を調査 1/2
待機 1/15、1/16

○Car-SATによる被災状況調査

- ・ 石川県輪島市、珠洲市を調査 1/2~16

(5) 災害対策用機械等の出動【本日 141 台派遣】 (のべ 1,407 台・日)

○照明車

- ・ 47 台を石川県内(輪島市、金沢市、穴水町、羽咋市、珠洲市、志賀町)に派遣 [稼働中 40 台、待機中 5 台、移動中 2 台]
- ・ 24 台を富山県内(富山市)に派遣 [待機中 9 台、移動中 15 台]
- ・ 2 台を新潟県内(上越市)に派遣 [稼働中 2 台]

○対策本部車

- ・ 7 台を石川県内(輪島市、珠洲市、能登町)に派遣 [稼働中 5 台、待機中 2 台]

○待機支援車

- ・ 20 台を石川県内(輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)に派遣 [稼働中 18 台、

待機中1台、移動中1台]

○給水機能付散水車

- ・14台を石川県内（珠洲市、能登町、中能登町、志賀町）に派遣[稼働中12台、待機中2台]
- ・6台を富山県内（氷見市、高岡市、富山市）に派遣[稼働中1台、待機中3台、移動中2台]

○バックホウ

- ・2台を富山県内（富山市）に派遣[待機中2台]
- ・1台を新潟県内（上越市）に派遣[待機中1台]

○遠隔操縦装置（ロボQS）

- ・1台を富山県内（富山市）に派遣[待機中1台]

○Car-SAT

- ・3台を石川県内（珠洲市、輪島市、金沢市）に派遣[移動中2台、待機中1台]

○衛星通信車

- ・2台を石川県内（七尾市）に派遣[待機中2台]
- ・2台を富山県内（富山市）に派遣[待機中2台]

○Ku-SAT

- ・8台を石川県内（輪島市、珠洲市、七尾市、穴水町、能登町）に派遣[稼働中8台]
- ・2台を富山県内（富山市）に派遣[待機中2台]

(6) 給水支援

- ・石川県能登町へ給水機能付散水車1台を派遣 活動中。(1/6～)
- ・石川県珠洲市へ給水機能付散水車11台を派遣 活動中。(1/5～)
- ・石川県志賀町へ給水機能付散水車1台を派遣 活動中。(1/6～)
- ・石川県中能登町へ給水機能付散水車1台を派遣 待機中。(1/3～)
- ・富山県氷見市へ給水機能付散水車1台を派遣 活動中。(1/2～)
- ・富山県高岡市へ給水機能付散水車1台を派遣 待機中。(1/13～)
- ・富山県富山市へ給水機能付散水車4台を派遣 待機中。(1/13～)
- ・石川県珠洲市へ可搬式浄水装置2台(水資源機構)を派遣 1/12 飲用水を提供中。(1/5～)

(7) 電源支援

○石川県内の避難所で照明車による電源支援中

- ・珠洲市（第三長寿園）
- ・輪島市（港公民館、道下集会所、劔地原子力防護施設）

6 気象庁の対応状況

○気象庁記者会見（1/1 18:10、21:30、1/2 00:00、1/2 10:32、1/7 1:30、1/8 14:00）

○気象庁災害対策本部会議（1/1 21:30、1/2 13:30、1/3 15:00、1/4 15:00、

1/5 15:00、1/6 13:30、1/7 16:30、1/8 16:30、
1/9 15:00、1/10 15:00、1/11 17:15、1/12 15:00、
1/13 15:00、1/14 15:00、1/15 14:30)

○大雨警報・注意報（土壌雨量指数基準）を引き下げた暫定基準による運用を開始（1/1）

通常基準の7割：2県8市町（石川県、新潟県）

通常基準の8割：4県27市町村（石川県、新潟県、富山県、福井県）

○気象庁HPにポータルサイトを開設し、復旧・復興対応支援、避難生活の健康管理等のため、地震活動状況や地域毎の天気・気温等の詳細な予測情報を提供（1/2）

○洪水警報・注意報の発表基準（流域雨量指数基準）を引き下げた暫定基準による運用を開始（1/9）

通常基準の7割：1県7市町（石川県）

○JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣状況 ※TEC-FORCEの内数

1/1：17人（現地対策本部2人、山形県1人、新潟県2人、富山県2人、石川県4人、福井県2人、兵庫県2人、島根県2人）

1/2：36人（現地対策本部9人、新潟県4人、富山県3人、石川県10人、七尾市3人、珠洲市3人、福井県2人、鳥取県2人）

1/3：23人（現地対策本部4人、新潟県2人、富山県3人、南砺市2人、小矢部市2人、石川県7人、中能登町3人）

1/4：13人（現地対策本部4人、新潟県2人、富山県2人、石川県5人）

1/5：26人（現地対策本部5人、新潟県1人、富山県2人、氷見市2人、石川県4人、七尾市3人、能登町3人、穴水町3人、志賀町3人）

1/6：22人（現地対策本部5人、石川県5人、七尾市3人、中能登町3人、能登町3人、穴水町3人）

1/7：7人（現地対策本部5人、石川県2人）

1/8：7人（現地対策本部5人、石川県2人）

1/9：11人（現地対策本部5人、石川県2人、富山県2人、新潟県2人）

1/10：7人（現地対策本部5人、石川県2人）

1/11：7人（現地対策本部5人、石川県2人）

1/12：9人（現地対策本部5人、石川県2人、新潟県2人）

1/13：11人（現地対策本部5人、石川県3人、能登町3人）

1/14：30人（現地対策本部5人、石川県2人、七尾市4人、珠洲市3人、中能登町3人、能登町2人、穴水町3人、志賀町8人）

1/15：13人（現地対策本部5人、石川県2人、珠洲市3人、能登町3人）

1/16：7人（現地対策本部5人、石川県2人）

のべ246人

7 海上保安庁の対応状況

(1) 投入勢力

○巡視船艇等・航空機

巡視船艇等 18 隻 (ヘリ搭載型 1 隻、測量船 1 隻ほか 16 隻)
(延べ 309 隻)

航空機 4 機待機中 (固定翼機 1 機、回転翼機 3 機)
(新潟 MA863、新潟 MH978、新潟 MH918、つがる MH914)
(延べ 98 機)

特殊救難隊 0 名 (延べ 18 名)

機動救難士 6 名 (延べ 96 名)

○リエゾン

石川県庁 九管本部職員 2 名 (延べ 30 名)

七尾市 九管本部職員 2 名 (延べ 27 名)

輪島市 九管本部職員 3 名 (延べ 49 名)

珠洲市 九管本部職員 2 名 (延べ 20 名)

能登町 九管区職員 2 名 (延べ 12 名)

○対策本部

政府現地対策本部 (石川県庁) 九管本部・本庁・他管区職員 4 名
(延べ 56 名)

○現地派遣

航路標識被害状況調査 九管本部・本庁整備課職員 0 名 (延べ 12 名)

(2) 搜索救助の状況

○1月2日(火)

急患 2 名 (女児・女性) を輪島市東陽中学校から回転翼機により小松空港に搬送

○1月4日(木)～9日(火)

輪島市において、孤立者情報への対応中

○1月4日(木)～10日(水)

珠洲市沖合において、津波による行方不明者搜索を実施中

○1月11日(木)

石川県からの要請による要搬送者対応 (珠洲市)

以後、即応待機とし要請に基づき対応。

(3) 支援状況 (物資を除く)

【人員】

○1月2日(火)

- ・警察職員 3 名 (石川) を七尾港から小型艇により能登島に搬送
- ・北陸電力職員 6 名を七尾港から巡視船により飯田港及び輪島港に搬送
- ・消防職員 5 名 (七尾) を七尾港から小型艇により能登島まで搬送

○1月3日(水)

- ・警察職員 23 名 (愛知 15、岐阜 7、石川 1) を七尾港から巡視船により飯

田港に搬送

- ・北陸地方整備局職員1名を新潟港から巡視船により輪島港に搬送
- ・消防職員47名（大阪20、奈良27）を金沢港から巡視船により輪島港に搬送

○1月14日（日）

- ・要介護者4名を珠洲市野々江総合グラウンドから回転翼機により金沢市セントラルパークに搬送

【給水支援等】

○1月3日（水）～16日（火）

- ・七尾港岸壁に着岸した巡視船から自衛隊給水車等給水
合計：691台 2019.2トン

○1月4日（木）～5日（金）、11日（木）

- ・輪島港岸壁に着岸した巡視船から自衛隊給水車に給水
合計：4台、6.1トン

【その他】

○1月2日（火）～3日（水）

港内（輪島港）調査

○1月5日（金）～6日（土）

測量船による飯田港における港内調査を実施

○1月6日（土）～7日（日）

測量船による蛸島漁港における港内調査を実施

○1月7日（日）～8日（月）

測量船による小木港及び宇出津港における港内調査を実施

○1月12日（金）～13日（土）

測量船による伏木富山港における港内調査を実施

○1月13日（土）～14日（日）

測量船による宇出津港における港内調査（追加調査）を実施

○1月14日（日）～15日（月）

測量船による輪島港における港内調査を実施

○1月15日（月）～16日（火）

測量船による富山湾南部における異常水深調査を実施中

8 国土地理院の対応状況

○国土地理院災害対策本部会議（1/1 18:50、1/2 11:10、1/3 11:55、1/4 13:10、1/5 13:10、1/9 13:00、1/12 13:10）

○電子基準点による地殻変動について、HPに掲載（1/1、1/2、1/9、1/15）

○被災状況調査のため、測量用航空機にて空中写真を撮影（1/2、1/5、1/11、1/14）

○「だいち2号」観測データの解析による地殻変動（1/2、1/4、1/9、1/11、

- 1/12)、震源断層モデルについて HP に掲載 (1/2)
- 空中写真(垂直写真、正射画像)を関係機関に提供するとともに HP に掲載(垂直写真 1/3、1/6、1/11、1/12、1/15、1/16、正射画像 1/3、1/6、1/12)
- 斜面崩壊・堆積分布データ、斜面崩壊・堆積分布図を関係機関に提供するとともに HP に掲載(分布データ 1/4、1/6、1/7、1/9、1/12、1/15、分布図 1/4、1/5、1/7、1/9、1/12、1/15)
- 被災前後の比較(空中写真)(1/4、1/12)、「だいち2号」観測データの解析による海岸線の変化を HP に掲載(1/4、1/11)
- 空中写真判読による津波浸水域(推定)を関係機関に提供するとともに HP に掲載(1/5、1/9、1/10、1/11、1/12)
- 空中写真等の画像判読による輪島市中心の火災焼失範囲(推定)を HP に掲載(1/5、1/12)

9 国土技術政策総合研究所・土木研究所・建築研究所・港湾空港技術研究所の対応状況

- 国土技術政策総合研究所災害対策本部会議(1/1~1/12、1/15~1/16)
- 土木研究所災害対策本部会議(1/1~1/9、1/11~1/12、1/15)
- 建築研究所応援対策本部会議(1/1~1/5、1/9、1/12)
- 道路構造物の専門職員が石川県内の橋梁、道路盛土、トンネルなどの道路構造物を現地調査(1/2、1/3:国総研2名、1/5:国総研3名、土研3名、1/6:国総研7名、土研3名、1/7~1/8:国総研3名、土研3名、1/10~1/11:国総研1名、土研1名)
- 下水道の専門職員を石川県庁へ派遣(1/3~1/4:国総研1名、1/5:国総研2名、1/6~1/9:国総研1名、1/10~1/12:国総研3名、1/13~1/15:国総研2名、1/16:国総研3名)
- 建築物のRC構造および防火の専門職員を現地に派遣(1/3、1/4:国総研2名、建研5名)
- 建築基礎地盤の専門職員を現地へ派遣(1/4:建研2名、1/8~1/9:建研5名)
- 木造建築物の専門職員を現地に派遣(1/6:建研1名、1/7~1/8:建研3名、1/9~1/10:国総研1名:建研2名)
- 建築物の構造および防火の専門職員を現地へ派遣(1/10:国総研1名、建研1名)
- 建築物の荷重外力の専門職員を現地へ派遣(1/13~1/14:国総研1名、建研2名)
- 港湾構造物の専門職員を石川県内の港湾施設の現地調査のため派遣(1/3~1/5:国総研1名、港空研1名、1/6~1/8:国総研1名、港空研5名、1/9:港空研5名、1/10:港空研3名、1/11:港空研2名、1/14:港空研1名、1/15~1/16:国総研1名、港空研3名)
国総研と港空研の連携による技術支援チームにより、利用可否判断、復旧等に関する技術支援を実施(1/2~1/16)
- 空港施設の専門職員が空港の復旧等に関する技術支援をリモートにて実施(1/2~1/5:国総研2名)
上記技術支援チームにより、復旧等に関する技術支援を実施(1/2~1/5、1/10~1/16)

- 砂防・土砂災害の専門職員を現地へ派遣（1/5～1/8：国総研2名、土研2名、
1/11～1/14：国総研2名、土研2名）
- 建設機械の専門職員を北陸地方整備局へ派遣（1/6～1/15：国総研1名）
- 災害対策マネジメントの専門職員を石川県庁へ派遣（1/10～1/16：国総研1名）
- 河川構造物の専門職員が石川県内のダムを現地調査（1/10～1/11：国総研2名）